



左から小林さん、猪俣さん、舟木さん、飯塚さん

女性活躍推進法が施行されるなど、女性を含めた働き方が見直されています。

今回は、生活協同組合コープあいつひがし店の職員、舟木実果子さん、飯塚美穂子さん、猪俣真琴さん、小林秀夫さんにお話を伺いました。

生活協同組合コープあいつ(食品小売業、共済・保険事業、旅行事業など)

従業員数 602人(男性184人 女性418人) 女性管理職9人

会津全域で店舗事業と宅配事業を行い、食料品や日用品、燃料を中心に商品の供給活動を展開し、移動販売車の運行や共済・保険事業・旅行事業など、組合員の生活に幅広く貢献できる活動を行っている。また、商品の供給活動を通じて、「食の安全」「福祉」「平和」「環境」「文化活動」などの取り組みを組合員とともに進め、地域での社会貢献に努めている。ワーク・ライフ・バランス関連の講習会、研修会の参加費を助成し、女性管理職の登用を積極的に推進している。

現在の仕事の内容を教えてください。

舟木さん 店舗の出納責任者で、主にサービスカウンターとレジを担当しています。

飯塚さん 惣菜チーフを任されており、主に惣菜の調理・販売をしています。

猪俣さん 妊娠前は、水産担当でしたが、現在は、体への負担を考慮していただき、商品補充などの業務を務めています。

小林さん 全体を管轄する執行役員を務めています。

日々の仕事をしていく上で、工夫していることは何ですか。

舟木さん より良いチームワーク・人間関係にするために、職場でのコミュニケーションを大切にしています。

飯塚さん 特別な注文が入ると出勤の時間が変わるため、家事を家族で分担しています。

猪俣さん 組合員の皆さまの目線での売り場づくり、商品づくりを常に心がけています。

事業所として、女性活躍やワーク・ライフ・バランスなどの取り組みがありますか。

小林さん パートから嘱託、そして正社員への転換制度

の整備を図っています。女性従業員が多いため、産休・育休を取得しやすい環境づくりを推進しており、長時間労働の削減にも努めています。

これまでの取り組みで成果はありましたか。

小林さん 正社員への転換制度により、パート社員の働く意欲の向上につながっています。女性職員の産休・育休取得率はほぼ100%です。長時間労働の削減は、引き続き優先して取り組んでいます。

「母性保護月間」という取り組みが行われているようですが、どのようなものですか。

飯塚さん 生理痛や更年期障害など、女性特有の症状で業務が困難になる場合に、休暇を取得しやすい環境を整えるための取り組みで、期間中はバッジをつけて推進しています。

小林さん その他に、日々の「商品のお勧め」「メニュー提案」「アイテムづくり」など、女性の視点を生かした暮らしの中の知恵を大切にしています。

働いていて良かったと思うことはどんなときですか。

舟木さん 組合員の皆さま

に顔と名前を覚えていただき、温かい言葉をかけてもらえたときです。

猪俣さん 組合員さんに商品を提供した際、「ありがとう」という言葉をいただく、とてもうれしいです。

あなたが考える男女共同参画社会とはどんな姿ですか。

舟木さん 男女ともに研修会などに参加し、たくさんの経験を積み、男女が均等にさまざまな場面で活躍できることだと思います。

今後の抱負を教えてください。

飯塚さん 惣菜のチーフをしていると、特別注文が入った時やお盆期間中は、早出勤をしたり、家族の協力が不可欠になります。ご利用いただいた組合員さんに喜んでもらえるよう、頑張りたいです。

猪俣さん 人材育成やキャリアアップの研修会に参加し、いろいろなところからたくさんの方のことを学んでいきたいです。

取材内容は市ホームページにも掲載しています。

問 企画調整課 企画調整班
☎(24)5209